

新基地建設反対名護共同センターニュース

ウチナンチュは不屈だ！絶対あきらめない



「オール沖縄会議」は6日、辺野古の浜のテントで第1土曜日のオンライン集会「ブルーアクション」を開催。強い雨の中、テント周辺には先月を上回る160人が駆け付けました。同会議の共同代表や顧問の国会議員、保守から革新までの県政与党議員代表が勢ぞろいし、全員が決意を表明。「オール沖縄」の結束の強さが浮き彫りになりました。

赤嶺政賢衆院議員は「自民党は選挙結果で辺野古の見通しがついたと言っているが工事の見通しは全く立っていない。追い詰められているのは政府だ」と強調。各発言者も衆院選結果に触れつつ、「辺野古新基地を造らせないとウチナンチュの民意は揺るがない」と、来年の名護市長選や参院選、知事選勝利への決意を意気高く確認し合いました。玉城デニー知事からメッセージが寄せられました。

辺野古反対のブルーアクション各地に広がる

保守・革新の「オール沖縄」の国会議員や県議勢ぞろい 県内20数カ所で「島ぐるみ」が連帯のスタンディング

- **南部地区**・那覇市（県庁前や安里十字路など3ヶ所）、糸満島ぐるみ会議、とみぐすく島ぐるみ会議、南城市島ぐるみ会議、与那原島ぐるみ会議、島ぐるみ会議・南風原、島ぐるみ会議八重瀬の会
- **中部地区**・うるま市「島ぐるみ会議」、沖縄市民会議、島ぐるみ会議ぎのわん、嘉手納町民会議、憲法9条を守る会・北谷、「建白書」を実現する西原町民会議、読谷村民会議、北中城村民会議、中城村民会議
- **北部地区**・島ぐるみ会議名護、本部町島ぐるみ会議、島ぐるみ会議大宜味、今帰仁村島ぐるみ会議、島ぐるみ会議宜野座、島ぐるみ会議金武町

スタンディングを行った島ぐるみ
ブルーアクションに呼応・連帯し、沖縄県内各地の以下20数カ所の島ぐるみ会議がスタンディングを行いました。



「私たちはネバーギブアップ! 共に頑張りましょう!」と元気よくシュプレヒコールする海上チームの皆さん

「浜のテント」での座り込み ボランティア募集!



「浜のテント」の座り込みは、8日で8年+6413日になりました。これからも闘いは続きます。子どもや孫の時代まで、負の遺産を残さないため辺野古新基地建設にストップをかけましょう。「浜のテント」は現在ヘリ基地反対協の加盟団体が座り込み中ですが、加えてボランティアによるスタッフを募集します。やっていただく内容は、辺野古浜のテントでの座り込み。当面、月曜日～土曜日までの午前中。詳しいことは—
ヘリ基地反対協・仲本 (090-3793-1323)迄

新基地反対の民意は変わらない

ゲート前などで抗議行動を再開
沖縄県の緊急事態宣言解除後「オール沖縄会議」は、10月25日からゲート前での抗議活動を再開しています。5日は、西原町や浦添市の島ぐるみなどから約50人が座り込み、抗議行動を展開。司会の仲本興真ヘリ基地反対協事務局長は「総選挙は2勝2敗だった。特に名護市を含む3区で敗れたことは残念だった。しかし新基地建設反対の民意は変わらない。今回の教訓から学び、来年の名護市長選や参院選、知事選に備えよう」と訴えました。

安和港と塩川港でも抗議行動が続いています。塩川港で本部町島ぐるみ会議の原田みき子さんが「防衛局は、1日ダンブ160台との約束に反して毎日700台分も搬出している。それも粘土のような赤土です。幾重もの違反工事です」と怒りを募らせていました。



写真上中央は、ゲート前で機動隊に抗議する仲本氏。下は、塩川港で粘土のような赤土を搬出中（いずれも5日）